

GO!GO!

令和2年6月 5年保護者会資料

令和2年6月4日（木）

本日の予定

<学年全体会>

1. 学校長より
2. 副校長より
3. 教育目標について
4. 5年生の特徴
5. お知らせとお願い
6. 家庭学習について
7. 学習について
8. 集金について
9. 質疑応答

校長	亀田 親子	副校長	伊東 純
音楽専科	中村 和愛	図工専科	五島 真希
家庭科専科	野崎 由紗	理科 TT 講師	清水 英夫
算数少人数	天田 昭博	算数少人数講師	石井 恵子
算数少人数	田邊 美雪	体育講師〔1組〕	矢田部 晴男
養護	越智 いつ子	えのき学級・ふたば学級の担任等	

1. 学校長より

2. 副校長より

3. 教育目標について

(1) 緑野小学校教育目標

- ・ よく考える子
- ・ 美しさを感じる子
- ・ 共に生きる子
- ・ 健康で頑張る子

学校経営の基本方針

- ・ 安心で安全な学校作り（特に感染防止対策の徹底）
- ・ 学年団・学級団（ふたば・えのき）を活用した学年経営・学級経営
「みんなでみんなを育てる」

学年担任としての意識 交換授業の取組

(2) 5年生の学年目標

- 自分の考えをもって、学習に取り組む子
- 人の気持ちを考え、すすんで協力する子
- 健康安全に気を付け、すすんで身体をきたえる子

自分の考えをもって学習に取り組む子

◎主体的・対話的で深い学びができる授業作りを通して、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来のつくり手となるために必要な「生きる力」を育むことを目指します。自分がこれからどのように社会や世界と関わるのか、よりよい人生を送るためにどうすればよいか、自分が何を理解していて何ができるのか、また理解していることやできることをどう使っていかかを考えられるようにしていきたいと考えています。

人の気持ちを考え、すすんで協力する子

◎「本当の仲よしは、互いに気持ちが自由である」ということを基盤にし、男女・学級の垣根もなく、90人全員が、ともに過ごす仲間として元気に生活していくことを目指します。お互いの個性を認め合い、一人一人が自信をもって学校生活を送ることができるように、学年団4人が子ども一人一人を認め、励ましていく姿勢で日々過ごしていきます。

健康安全に気を付け、すすんで身体をきたえる子

◎学校では体育の充実を図ります。楽しく真剣に、そして積極的に体を動せるようになることを目指します。食育、保健の学習とともに、健康に気を付けて生活していけるよう日々指導していきます。

4. 5年生の特徴

5年生の子どもたちの傾向として、次のようなことが挙げられます。

5年生の心

- 物事を客観的、論理的に考えられるようになり、大人や友だちの批判ができるくらいに他人を見る目が鋭くなる。
- 矛盾したことに納得せず、食い下がるようになる。
※いわゆる「反抗期」の始まりです。大人の助言をうるさがり、自分で何とかしたいという欲求が強くなります。素直でなくなったり作り事を言ったりすることもあるでしょう。だからこそ、子育てに携わる者、教育に携わる者の一貫した信念がますます大切になります。
- おだてにはのらなくなる。
※本当にかんばったときや、自分が達成感を味わったときにこそ、適切なほめことばを欲します。機を外さずにほめてもらうことによって自信となり、さらに積極的な行動を起こせます。

- 知的好奇心が旺盛になる。
※日常生活の中のニュースや出来事について、共通の話題も生まれてきます。ぜひ、機会をとらえて、話し相手になってあげたいものです。
- 男同士、女同士のグルーピングが始まる。
※感情的な共感による結びつき（特に女の子）が強まります。親や担任の存在よりも友だちの存在が重くなり、良くも悪くも互いに影響し合います。
- 目的に応じてリーダーが代わるようになる。
※それぞれがリーダーになれる可能性をもっています。
- グループの中で人間関係をつかみ、成長していく。
※親友とよべる友だちを見つけようとする一方で、些細な一言に傷ついたり「つながりが切れないようにするために」気を遣ったりする子も出てきます。

5年生の体

- 身体の各部が目立って発達してくる。
※特に女子の発達が著しく、体格の上で女子が優位に立つ時期です。
※巧みな動きを高める力、持続力などの発達を促すのによい時期です。
※女子は初潮がみられる頃です。保護者の適切な配慮が必要です。

このような5年生の特徴をふまえて、次のことが大切であると考えます。

信頼関係を築いていきます ためこまず、決めつけず、気軽に話をしましょう。

(1) 子どもと・・・

担任する子どもだけでなく、学年団全員で90人の子どもたち一人一人との信頼関係を築いていきます。学校生活の中では、これがすべてだと言っても過言ではありません。新しい環境は子どもにとってストレスもたくさんあるでしょうが、担任と子どもたち、学年団の教員と子どもたちが互いに信頼し合って、自分たちの手で居心地のいいクラス、学年をつくっていく過程を、どうぞあたたかい目で見守ってください。

(2) ご家庭と・・・

思春期で気持ちが揺れる難しい時期だからこそ、ご家庭と担任の信頼関係がとても大切になります。担任と自分の親がうまくかみ合っていないければ、子どもはそれを敏感に感じ取ります。子どもにとって、こんなにつらいことはありません。

気になることがありましたら、ため込まず、決めつけず、気軽に話をしてください。情報交換をしましょう。ご家庭からの子どものいい話もどうぞ。子どもをより深く理解するためにもきっと役に立ちます。「かげで・・・」ではなく、お互いに伝え合うことでよい関係を築きましょう。よい関係ができれば、お子さんはますます伸びていくはずですよ。

4人で90人を見ていきます

学年で行う行事だけでなく、今年度も算数少人数学習等で学級の枠を外して学習することがあります。「学年の子ども」として、担任3人の個性を生かし、また家庭科専科としての枠を超えて学年での関わりも深くもち、心を合わせて、4人で子どもたちの指導にあたっていきます。

5. お知らせとお願い

- 筆記用具のうち、シャープペンシルは禁止です。鉛筆を5本程度、ネームペン、赤・青の色鉛筆をご用意ください。
- 事故防止のため、欠席・遅刻・早退・見学・その他、担任への連絡は連絡帳でお願いします。保護者会に欠席される場合も同様です。緊急の場合を除き電話での連絡はご遠慮ください。
- 国語辞典で調べる習慣を身につけさせたいと思います。教室に国語辞典を置いておき、いつでも使えるように国語辞典を持たせてください。
- 家庭科が始まります。家庭科バックをご用意ください。
- 体育の服装については、以下のようにお願いします。
 - ・手足の爪は、いつも短く清潔に。
 - ・上着はズボン(短パン)の中に入れる。
 - ・適切な下着を着用する。
 - ・ピンやシュシュは外す。(飾りのないゴムを使用する)
 - ・髪の毛が肩にかかる場合には、必ず結ぶ。
 - ・体育着の上には、フード、ファスナー、ポケットがついているものやセーターなどは羽織らない。(袖で手が隠れてしまうのも危険)

6. 家庭学習について

自分から進んで学習する習慣を！1日50分は机に向かう習慣を！

宿題は、基本的に毎日出します。出し方については、各クラスでご確認ください。また、5年生は「自主学習」に重点を置いていきます。漢字の定着や計算の定着だけでなく、時事問題についての調べ学習や自分の考え、日常についての感想作文など、自分で必要だと思うことや興味を持ったことについて、すすんで取り組んでほしいと思います。自主学習は、学校生活がある程度落ち着いてから取り組む予定です。

「学習」は、学校に在籍している限り絶対的に必要なことです。宿題が出たときだけ勉強する、塾に行っているから大丈夫という受け身の姿勢では、これからの「生きる力」を十分に身につけることができません。自ら課題を見つけて学んでいく姿勢を高学年のうちに身に付けてほしいと思います。自分の意思で机に向かう、自分で決めた時刻にゲームやテレビをやめて机に向かう等、難しいことかもしれませんが、ご家庭のご協力を是非お願いいたします。

7. 学習について

国語

☆日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使う。

(漢字)

- ・学習した漢字を読んだり書いたり、文章の中で使う。

(言葉)

- ・日常使われる敬語を理解し、使い慣れる。
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気付く。
- ・古典、漢文、文語調の文章の音読。

(情報)

- ・原因と結果などの関係について理解する。
- ・関係づけの仕方、図などによる関係の表し方を理解する。

☆日常生活における人とかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。

(話す・聞く)

- ・目的や意図に応じて内容をとらえ、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。

(書く)

- ・事実と感想、意見を分ける。
- ・引用したり、図やグラフなどを用いたりして、伝えたいことを明確にする。

(読む)

- ・文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えをまとめ、他者と共有し、考えを広める。
- ・文学作品の読解では、登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わって読む。
- ・説明文では、必要な情報を抜き出す力、要旨をつかむ力、さらに筆者の主張に対して、自分はどう考えるといった主体的な読みの力をつける。

☆新しい単元に入ったら、音読練習。そして漢字の学習や辞書を使って意味調べ。

☆感じたことや考えたことを書く習慣。

☆たくさん読書。緑野文庫の完読。

社会

- ・我が国の産業
- ・我が国の国土の様子
- ・地図・統計などの各種の資料を効果的に活用し、調べたことを表現する。
- ・社会的事象の意味について考える。
 - 日本の周りの国や海の名前、都道府県の位置や名前等を覚えることもしていきます。
 - 図書館を大いに活用できるといいです。

☆学習した事柄について、さらに図書資料やインターネット等で調べたり、図や絵、グラフなどわかりやすく書き加えたりすること。

算数

☆考える力

- ・同じように考える力
- ・決まりを見つける力
- ・理由を言う力

☆判断する力

- ・間違いを見つける力
- ・特徴で分類する力
- ・考えを比べる力

☆表す力

- ・文章を図や式に表す力
- ・資料を表やグラフに表す力
- ・友達や自分に伝える力
- ・小数のかけ算、わり算、同分母のたし算、ひき算など
 - 意味、計算の仕方、筆算
- ・三角形、平行四辺形、円などの面積の求め方
 - 公式を覚え、それを用いて答えが求められればよいというのではなく、学んだことから公式をつくることを通して、考える力をつける。
- ・データの活用

☆計算ドリルや練習プリント等は丁寧に確実にやり遂げる習慣。

理科

- 1回では、結果が出ず、2回実験するなど、4年生のときより複雑な実験や観察を行うようになる。
 - キーワードは、「条件制御」
→ 変える要因を一つに絞って実験する。
 - 生活の中に学習したことを見つけることで、学びが深まっています。
- ☆ 学習した事柄について、さらに図書資料やインターネット等で調べたり、図や絵、グラフなどわかりやすく書き加えたりすること。

総合

- 主体的に学ぶ姿勢
- 学び方やものの考え方
- 各教科で身につけた知識や技能を生かす
「受けつごう日本の食—米作りを通して—」
「発見！体験！ハヶ岳」← 変更の可能性あり
「伝え残そう日本の伝統文化—武道・芸能・古典芸能—」
「プラスバンド活動」

体育

- 技能・体力の向上
- 仲間と協力する態度
- 安全・健康についての意識

- 体づくり運動
- 器械運動（マット、鉄棒、跳び箱）
- 陸上運動（短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び）
- 水泳 ○ ボール運動 ○ 表現運動

外国語

- 体験を通して、日本や外国の言語や文化に対する理解を深める。
- 日本語と外国語との音声の違い等に気付く。
- 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- 相手に配慮しながら、主体的に外国語を聞くこと、書くこと、話す（会話）・話す（発表）、書くことの活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

8. 集金について

今年度は、引き落としとなっております。会計報告は、学期末に配布させる資料をご覧ください。例年、1年間の教材費として約14000円程度の集金をしています。また、ハヶ岳林間学校に関わる費用として、約25000円程度かかる見込みです。